

1 あなたの学校や家での学習のことで教えてください。

■分析と今後の指導上の工夫

・「勉強が好きですか」「学校の授業がどの程度分かりますか」の設問に対して、本校の肯定割合は市の肯定割合を上回っている。

ただし、「各教科の学習は好きですか」の設問に対して、教科によっては、数%ではあるが否定的な回答をしている児童もいることから、全ての児童が、勉強は楽しくよく分かると思えるように、分かりやすい指導を心がけていく。

・「1日の学習時間」についての設問では、平日は20分～1時間程度学習に取り組む児童が多い一方、土日は平日に比べ学習時間が短くなっている。今後、学校として家庭学習の進め方について保護者と一層の共有を図るとともに、一人一人の児童の実態に応じて声掛けをし、学習習慣を確立していく。

・「学習に対する気持ちや態度」についての設問では、肯定割合が100%であり、学習への高い意欲が伺える。学ぶことの楽しさや、新たな学びを獲得する喜びなどを今後も持ち続けられるよう、これからも授業の内容や指導の仕方を工夫していく。

・授業への取組についての設問では、100%の肯定割合が多かったが、「先生や友達の話をも、最後まできちんと聞いている」「自分の考えを、理由を挙げながら話すことができる」の設問では、肯定割合が93.3%であった。聞く態度の指導や、自分の考えを表現する活動の充実を図っていく。

・「家庭での学習」についての設問では、全市の肯定割合を上回っている。習ったことをその日のうちに復習することや、テストで間違えた問題をもう一度解くことについては、市の肯定割合を上回ってはいるものの、否定的回答がほかの項目よりも多くなっている。上学年に向けて、復習することの大切さを伝えていく。

2 あなたの毎日の生活について

■分析と今後の指導上の工夫

・「あいさつ」についての設問では、学校でのあいさつの肯定割合は100%であったものの、家庭や地域でのあいさつには消極的な児童も数%いる。学校ではあいさつ週間や日々の指導の成果もあり、あいさつの大切さを意識できていることが分かる。学校できちんと意識できているあいさつが、家庭や地域まで広がるよう声掛けを継続していく。

・動画視聴やゲームの時間に関する設問では、個人差が大きい。家庭でゲームの時間についてルールを作り、きちんと守るよう呼び掛ける。

・自分自身に関する設問では、肯定割合が多い。これからも教師が児童のよさを認め、それを伝えたり、学級活動の時間との関連を図り、児童が活躍できる場を設けたりすることで自己肯定感を高めていきたい。

・家での過ごし方についての設問については、全ての項目で市の肯定割合を上回っているが、「朝、自分で起きることができる」の回答で個人差が見られた。上学年に向けて自分で起きられるよう指導していく。

3 スマートフォンやけいたい電話について

■分析と今後の指導上の工夫

・53.3%の児童がスマートフォンや携帯電話を持っているが、フィルタリングを設定していない児童が12.5%、家庭で明確な使用上のルールを決めていない児童が25.0%いる。今後、さらに「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」の各家庭への周知徹底を図っていく。また、児童にもこの宣言についてしっかりと指導し、情報モラルについても指導していく。

4 あなたの体力やけんこう、食事、安全について

■分析と今後の指導上の工夫

・「体力」についての設問では、すべての項目で市の肯定割合を上回っており、児童は運動の大切さを理解している。

・食事の習慣や環境、食事のマナーや栄養に関する項目については、個人差はあるものの肯定的割合が高い。食事のマナーや栄養バランスなど、校内給食週間や普段の給食での指導を通して、一人一人の意識が高まったように思う。「好き嫌いをしないで食べていますか」の設問でも、市の肯定割合を上回っているため、苦手なものでも食べようとしている様子が分かる。これからも食事マナーについては適宜声をかけながら指導していく。

・「安全」についての設問では、全ての項目において肯定割合が100%であった。交通ルールをしっかりと守り、不審者に対する自分の行動も気を付けて行動している。自分自身や、身の回りの人たちに対する意識を高くもち、安全な行動について、児童自身で考えさせるように、今後も指導していく。